

## 《研究課題名》

子宮内膜を修飾する胚由来因子の同定

## 《研究対象者》

西暦 2015 年 4 月～西暦 2022 年 12 月に、後藤レディースクリニックにおいて不妊治療目的に胚を凍結し、治療終了に伴い破棄される方

## 研究協力をお願い

滋賀医科大学において上記研究課題名の研究を行います。この研究は、対象となる方の廃棄予定の胚を用いて行う研究であり、研究目的や研究方法は以下の通りです。試料・情報の使用について、直接ご説明して同意はいただきず、このお知らせをもって説明に代えさせていただきます。対象となる方におかれましては、研究の主旨・方法をご理解いただきますようお願い申し上げます。

なお、本研究への試料・情報の提供を希望されない場合、あるいは、本研究に関するご質問は下記（８）の問い合わせ先へご連絡ください。

### （１）研究の概要について

《研究課題名》 子宮内膜を修飾する胚由来因子の同定

《研究期間》 滋賀医科大学学長許可日～2025年3月31日

《研究責任者》 滋賀医科大学 産科学婦人科学講座 辻俊一郎

### （２）研究の意義、目的について

#### 《意義》

胚は着床する前になんらかの胚由来因子を放出し子宮内膜を修飾することで、着床しやすい環境を誘導していることが明らかになっています。しかし、その胚由来因子の実態は未だ明らかとはなっていないことから、胚由来 microRNA に着眼し本研究を立ち上げました。これらの研究は今後の不妊症の治療に寄与することが期待されます。

#### 《目的》

子宮内膜を修飾する胚培養液中に含まれる胚由来因子を調べる

### （３）研究の方法について

#### 《研究の内容》

本研究は、後藤レディースクリニックを研究協力機関とし、滋賀医科大学が行う単機関研究です。上記対象者の胚とその培養液について解析を行います。

#### 《利用し、又は提供する試料・情報の項目》

試料：不要になった凍結胚の培養液

情報：胚の形態情報、年齢、妊娠予後

#### 《試料・情報の提供を行う機関の名称及びその長の氏名》

医療法人 後藤レディースクリニック・後藤 栄

#### 《試料・情報の提供を受ける機関の名称》

滋賀医科大学 産科学婦人科学講座

#### 《提供する試料・情報の取得の方法》

オプトアウト

個人が特定できないよう番号付与を行った培養液（SEET 液）を外部調査機関に送付し解析結果を郵送や電子的配信にて取得します。

**《試料・情報の提供方法》**

郵送や電子的配信を用いて情報を共有します。

**《提供する試料・情報を用いる研究に係る研究責任者(多機関共同研究にあっては、研究代表者)の氏名及び当該者が所属する研究機関の名称》**

滋賀医科大学 産科学婦人科学講座 准教授 辻 俊一郎

**《試料・情報を利用する者の範囲》**

滋賀医科大学 母子診療科 笠原 真木子

滋賀医科大学 母子診療科 山中 弘之

医療法人 後藤レディースクリニック 後藤 栄

**《試料・情報の管理について責任を有する者》**

滋賀医科大学 産科学婦人科学講座 准教授 辻 俊一郎

**(4) 個人情報等の取扱いについて**

本研究を実施する際には、あなたの試料・情報から、あなたを特定できる情報（氏名、生年月日、住所等）を除き、代わりに本研究用の ID を付けることで、その試料・情報が誰のものであるか分からない状態にします。加工された情報は、施錠できる場所で担当者によって厳重に管理されます。

**(5) 研究成果の公表について**

本研究の成果は学会発表、学術雑誌およびデータベースなどで公表します。公表の際には個人が特定されることはありません。

**(6) 研究計画書等の入手又は閲覧**

本研究の対象となる方又はその代理人の方は、希望される場合には、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で本研究に関する研究計画書等の資料を入手・閲覧することができます。ご希望の場合には、下記(8)の問い合わせ先へご連絡ください。

**(7) 利用又は提供の停止**

本研究の対象となる方又はその代理人の求めに応じて、対象者の方の試料・情報を本研究に利用（又は他の研究に提供）することについて停止することができます。停止を求められる場合には、下記(8)にご連絡ください。

**(8) 本研究に関する問い合わせ先**

担当者：滋賀医科大学 母子診療科 笠原真木子

住所：520-2192 滋賀県大津市瀬田月輪町

電話番号：077-548-2267

メールアドレス：hgyne@belle.shiga-med.ac.jp